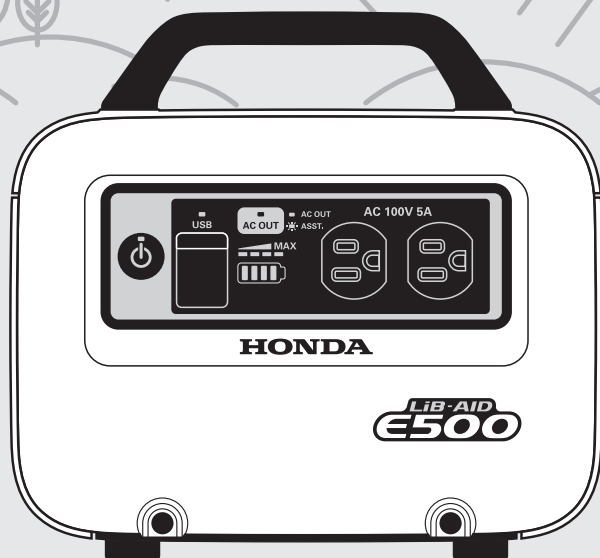


蓄電機
LiB-AID E500
取扱説明書



ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

ご購入後、まずはじめに同梱の充電器で充電してください。→ 充電のしかた (P.15)

Honda 蓄電機をお買いあげいただき誠にありがとうございます。

お買いあげいただきました商品や、サービスに関してお気づきの点、ご意見などがございましたら、**お買いあげ販売店またはサービス店**にお気軽にお申しつけください。

取扱説明書について

この取扱説明書は

- 本機をご使用の際は、必ず携帯してください。
 - 蓄電機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒に**お渡**してください。
 - 紛失や損傷したときは、お買いあげ販売店またはサービス店にご注文ください。
-

はじめに

この取扱説明書は、お買いあげいただいた蓄電機を安全かつ能率的に使用する手助けとして編集されたものです。

取扱説明書の中には、本機の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明してあります。

本機をお使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機の操作に習熟してください。

安全に関する表示について

本書では、使用者や他の人が傷害を負ったりする可能性のある事柄を下記の表示を使って記載し、その危険性を説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

⚠ 危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

取扱いのポイント

指示に従わないと、本機やその他のものが損傷する可能性があるもの

この取扱説明書は、仕様変更などによりイラスト、内容が一部実機と異なる場合があります。

目次

安全にお使いいただくためにこれだけは必ず守りましょう	4
安全ラベル	6
各部の名称と取扱いをおぼえましょう	7
メイン電源ボタン	10
メイン電源灯	10
USB 出力端子	10
USB 出力灯	10
AC OUT ボタン	10
AC 出力表示灯	10
AC 出力インジケータ	10
バッテリー残量灯	11
過負荷／温度警告灯	11
バッテリー警告灯	11
警告灯	11
交流コンセント	11
アース端子	12
並列運転端子	12
周波数切換スイッチ	12
充電用入力端子	12
設置のしかた	13
バッテリー残量の確認のしかた	14
充電のしかた	15
充電をする前に	15
充電状態の確認方法	16
AC 充電器で充電する	17
アクセサリソケット充電器（JN1 タイプのみ付属）で充電する ...	18
電気の取出しかた	20
電気を取出す前に	20
USB 出力端子を使う	21
交流コンセントを使う	22
AC 出力インジケータのみかた	23
並列運転する	24
E500、EU9i、EU9iGB、EU9iGP と接続する	25
EU15iGP、EU16i と接続する	27
アシスト運転する	29

停止のしかた	32
運搬のしかた	33
手で持ち運ぶ	33
車で運ぶ	33
船舶や航空機で運ぶ	33
お手入れと保管のしかた	34
お手入れのしかた	34
保管のしかた	34
故障かな？と思ったら	35
廃棄のしかた	38
主要諸元	39
交流コンセントの出力範囲と使用時間の目安	40
交流コンセントの出力範囲	40
使用時間の目安	42

警告

あなたと他の人の安全を守るために次の指示に従ってください。

- この取扱説明書を事前に読み、正しい取扱い方法を十分にご理解の上、操作してください。
- 医療機器には使用はしないでください。思わぬ事故を起こす可能性があります。
- 本製品（および充電器）の使用時には電磁波が発生します。植え込み型心臓ペースメーカー等使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。
- 分解や改造をしないでください。発熱や発火、感電の原因になります。
- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。また、変形破損した場合は使用しないでください。
火災やヤケド、感電やケガの原因になります。
- 充電器本体やコード、プラグを破損するようなことはしないでください。
傷んだまま使用すると、発火や感電の原因になります。
- 湯気、ほこり、油煙、腐食性ガスなどが多い場所では使用しないでください。
発熱、発煙、感電の原因になります。
- 火の中へ入れたり、加熱をしないでください。また、火のそばや炎天下、ストーブの近く、高温になった車内など、高温の場所で使用しないでください。
発熱や破裂、発火の原因になります。
- 濡れた手で本機や充電器を取扱わないでください。
感電するおそれがあります。
- 雨や水、海水などの液体でぬらさないでください。また、液体のかかる場所で使用しないでください。
発熱や発火、感電の原因になります。
- 交流出力は電力会社からの電気配線や屋内配線には絶対に接続しないでください。
感電や火災の原因になります。
- 充電の際は、必ず専用の充電器をご使用ください。
発熱や発火の原因になります。
- 家庭用 AC100V 電源、または車の DC12V 電源で充電してください。また必ず国内で充電してください。
海外などで異なる電源電圧で使用する、火災や故障の原因となります。
- アクセサリーソケット充電器（JN1 タイプのみ付属）は 12V 車のソケットに差込んでください。
発熱や発火の原因になります。
- 充電中に異臭、発熱、変色、変形がおきたときは、充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電池の液漏れや発熱、発火の原因になります。

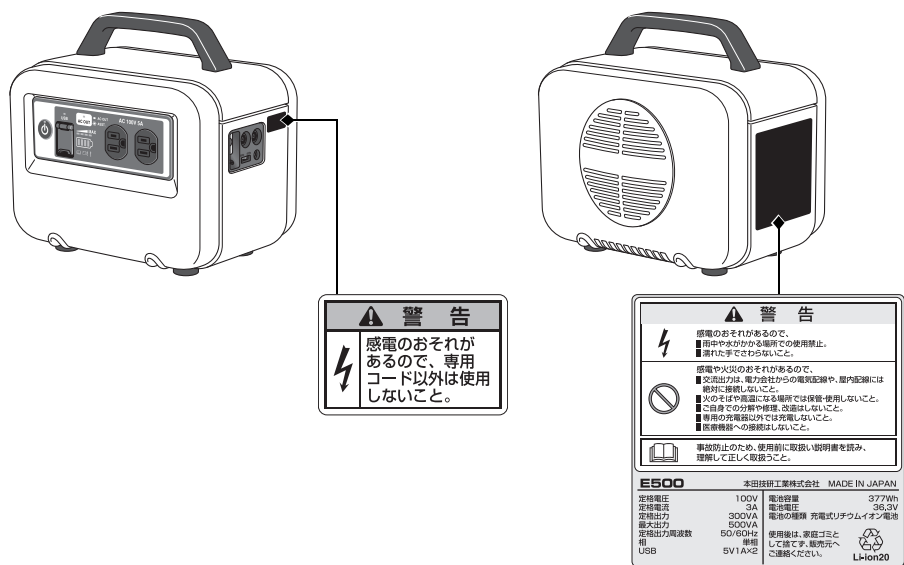
警告

- **本機に電気機器の電源プラグを接続する際は、プラグを根元まで確実に差込んでください。**
差込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。
- **ご使用の際は充電器の電源プラグとコンセントの間にほこりがたまっていないことを確認してください。**
発熱、発火による火災発生の原因になります。
- **並列運転端子には専用コード以外は接続しないでください。**
感電するおそれがあります。
- **充電用入力端子、交流コンセント、USB 出力端子、並列運転端子をショートさせないでください。**
感電やケガの原因になります。
- **電気の取出し中に異臭、発熱、変色、変形がおきたときは、お使いの電気機器の電源プラグを本機のコンセントから抜いてください。**
電池の液漏れや発熱、発火の原因になります。
- **保管中に異臭、発熱、変色、変形がおきたときは、使用しないでください。**
電池の液漏れや発熱、発火の原因になります。
- **万一、電池の液漏れが起きた場合すぐに火気から遠ざけてください。**
漏れた液や気体に引火して発火のおそれがあります。液が目に入った場合は、こすらず、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- **お子様の手の届かないところで使用・保管してください。**
感電やケガの原因になります。
- **雨や水、海水など水分のあたるところ、また湿気やほこりの多いところや、高温となるところには保管しないでください。**
絶縁性能が低下し、発熱・発火の原因となります。また、高温下での保管はバッテリーの寿命を縮める場合があります。

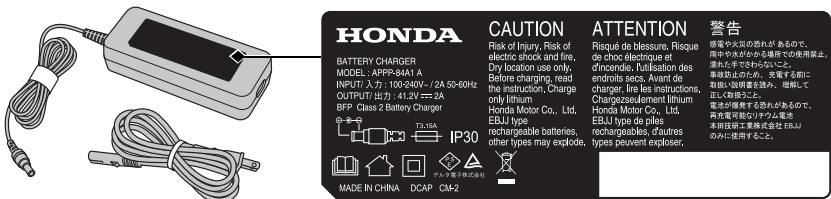
■ 安全ラベル

蓄電機を安全に使用していただくため、本機には安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルをすべてお読みになってからご使用ください。ラベルは、はっきりと見えるように、きれいにしておいてください。本機に貼ってあるラベルの破れ、紛失または汚れなどでラベルが読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。また安全ラベルが貼られている部品を交換する場合は、ラベルも新しいものに貼り替えてください。ラベルの貼り替えについては、お買いあげ販売店またはサービス店へお問い合わせください。

本機

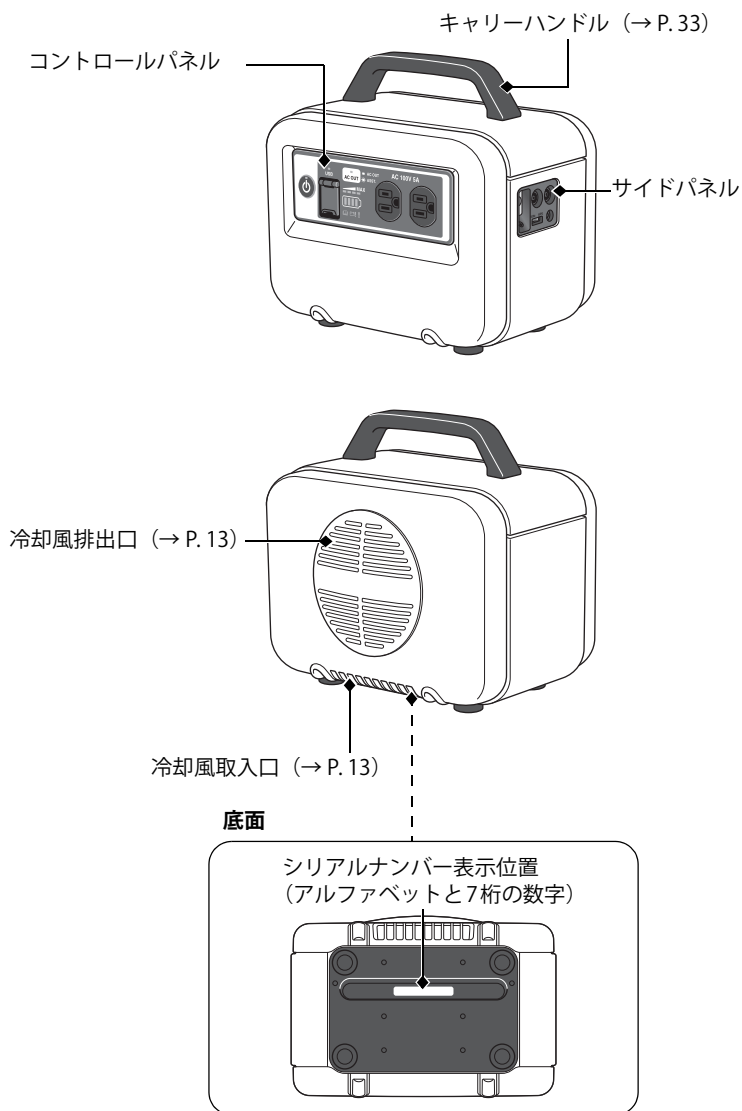


AC 充電器

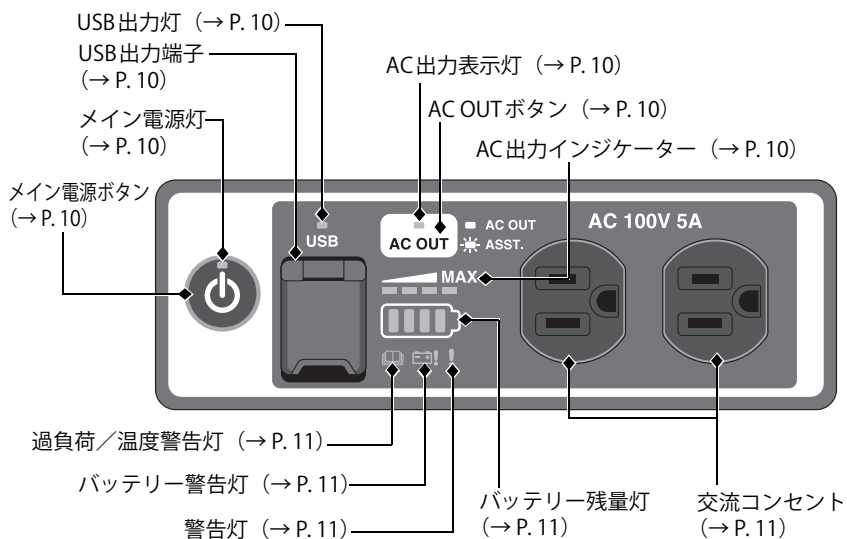


各部の名称と取扱いをおぼえましょう

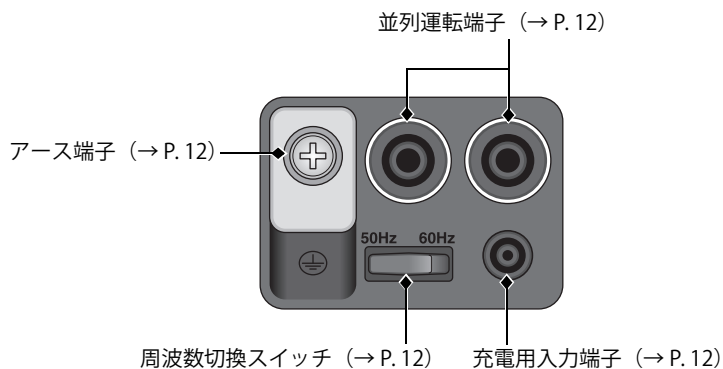
本機



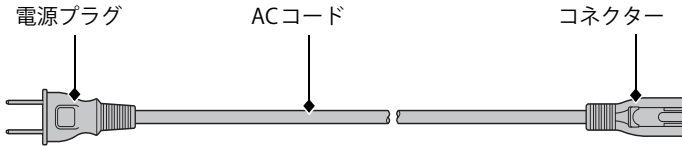
コントロールパネル



サイドパネル

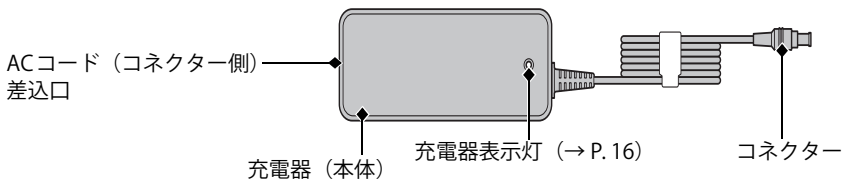


AC コード

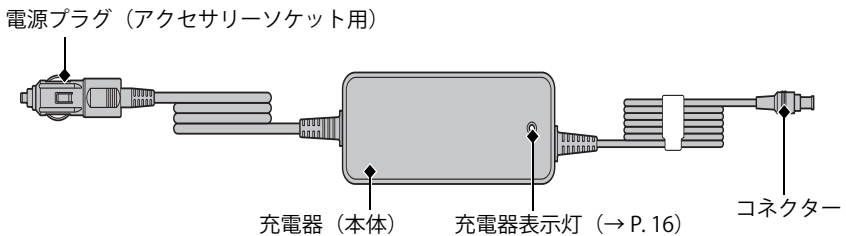


ACコードはE500専用のため、本機に付属しているAC充電器以外の電気機器には使用できません。

AC 充電器



アクセサリソケット充電器（JN1 タイプのみ付属）



■メイン電源ボタン

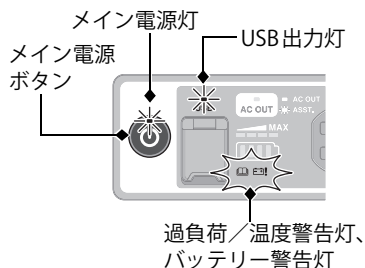
本機をON、OFFするときに押します。

ON時の表示

- ・メイン電源灯：点滅し点灯
- ・USB出力灯：点灯
- ・過負荷／温度警告灯、バッテリー警告灯：点滅し消灯（ご利用回数に応じて、点滅回数が増えます）

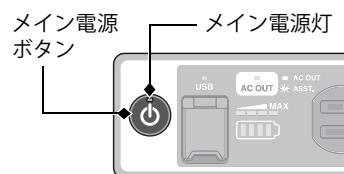
OFF時の表示

- ・メイン電源灯：点滅し消灯
- ・その他全ての表示が消灯



■メイン電源灯

メイン電源をONにすると点灯し、OFFにすると消灯します。

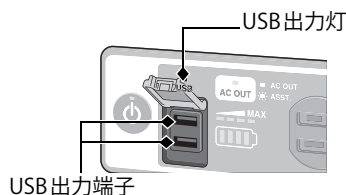


■USB出力端子

DC5V-1AのUSB出力端子が2つ装備されています。

■USB出力灯

メイン電源ボタンを押すと点灯します。

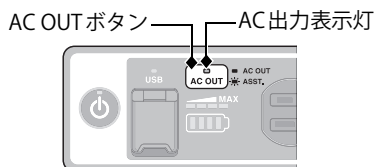


■AC OUT ボタン

交流コンセントを使用するときに押します。

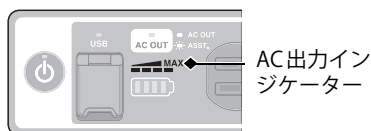
■AC 出力表示灯

AC OUT ボタンを押すと点灯します。また、アシスト運転時は点滅します。→アシスト運転する（P. 29）



■AC 出力インジケーター

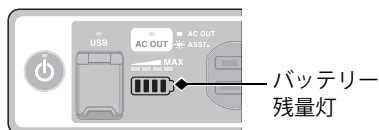
交流コンセントの出力（消費電力）を表示します。出力の目安としてお使いください。



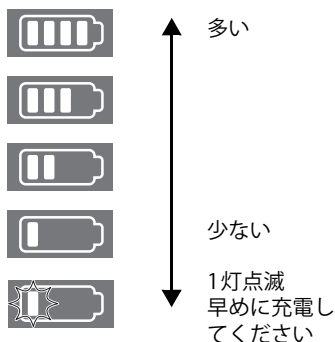
AC 出力インジケーター	出力の目安
	4灯点灯 約450W(VA)以上
	3灯点灯 約300～450W(VA)
	2灯点灯 約100～300W(VA)
	1灯点灯 約50～100W(VA)
	1灯点滅 約50W(VA)未満

■ バッテリー残量灯

バッテリーの残量を表示します。
バッテリー残量の目安としてお使いください。

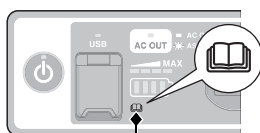


バッテリー残量灯 残量の目安



■ 過負荷／温度警告灯

本機が過負荷状態、または高温異常や低温異常を検出したときに点灯します。点灯時は、電気の取出しおよび充電ができません。
また温度警告で点灯の場合、本機の内部温度が適正温度になるまで点灯します。
→ 故障かな？と思ったら (P. 35)

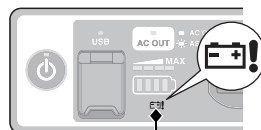


過負荷／温度警告灯

◇過負荷とは
本機の最大出力を超える電気機器をご使用になることです。
一部の電気機器（モーター使用の機器など）では、本機の最大出力以下であっても、過負荷となる場合があります。

■ バッテリー警告灯

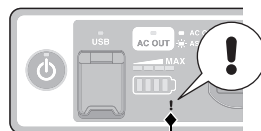
本機のバッテリーの故障を検出したときに点灯します。点灯時は、電気の取出しおよび充電ができません。
→ 故障かな？と思ったら (P. 35)



バッテリー警告灯

■ 警告灯

本機の内部装置の故障を検出したときに点灯します。点灯時は、交流コンセントから電気は取出しできません。
→ 故障かな？と思ったら (P. 35)

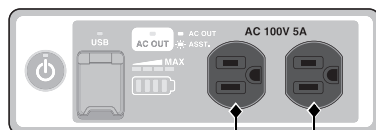


警告灯

■ 交流コンセント

コンセントが2つ装備されています。コンセントへプラグを差し込む際は、接触不良、抜けのないように確実に行ってください。

電気の取出しは、コンセントの出力範囲内でご使用ください。
→ 交流コンセントの出力範囲 (P. 40)

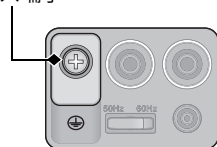


100V 交流コンセント
・ 差込口2個の合計容量：
最大5A [500W(VA)]

■ アース端子

本機をアースする端子です。
本機に接続する電気機器を大地にアースしたときは、本機も必ずアースしてください。

アース端子



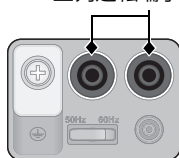
◇アースの取扱いについて
アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。
アースに関するご不明点は、お買いあげ販売店にご相談ください。

■ 並列運転端子

並列運転やアシスト運転をするときに専用コードを差込む端子です。
接続コードは**並列運転専用コード**、**または並列運転コンセントボックス**（どちらも別売部品）を必ず使用してください。

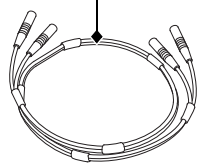
専用コードおよびコンセントボックスはお買いあげ販売店またはサービス店にご注文ください。

並列運転端子

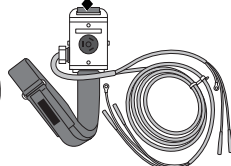


並列運転専用コード

並列運転コンセントボックス



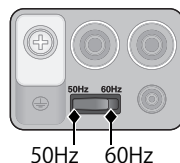
(別売部品)



(別売部品)

■ 周波数切換スイッチ

周波数の切換え（50Hz ⇄ 60Hz）を行うスイッチです。
接続する電気機器に合わせ周波数を切換えてください。



◇周波数切換スイッチは、誤操作防止のため奥まった場所に設置されています。細い棒状のものを使って操作してください。

■ 充電用入力端子

専用の充電器のコネクターを差込む入力端子です。

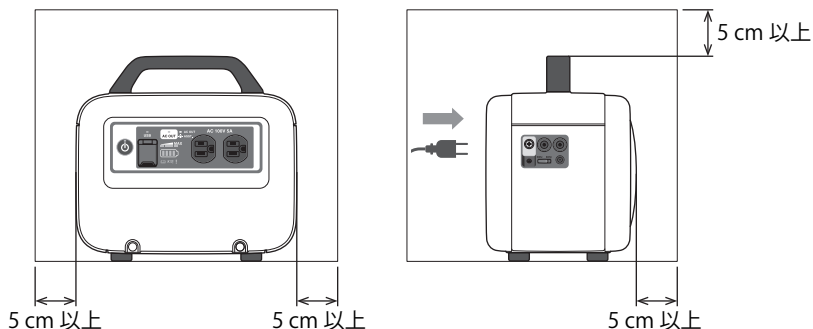


充電用入力端子

設置のしかた

⚠ 注意

- 本機を設置する際は、水平で安定した場所に設置してください。
落下してケガをするおそれがあります。



本機は、使用中に内部温度が上昇した場合、冷却ファンを作動させ送風することで内部を冷却します。

そのため、上図のように5cm以上あけて、密閉された場所ではなく、風通しの良い場所に設置してください。

特に、冷却風取入口と排出口をふさがないように注意してください。

冷却風取入口／排出口

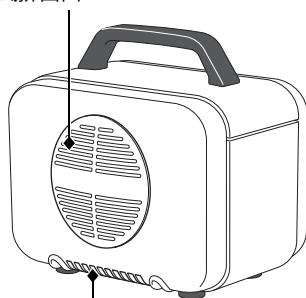
本機の背面に冷却風取入口と排出口があります。

また、冷却ファンは「AC OUT ボタン」を押したときも動作確認のために、約5秒間作動します。

取扱いのポイント

- 本機の内部冷却ができないと「過負荷／温度警告灯」が点灯し、電気の取出しや充電ができなくなります。その場合は本機を風通しの良い場所に移し、本機の温度を下げてから再起動してください。

冷却風排出口



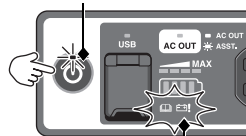
冷却風取入口

バッテリー残量の確認のしかた

1. 「メイン電源ボタン」を押す。

- ・「メイン電源灯」が点滅した後、点灯します。
- ・「過負荷／温度警告灯」、「バッテリー警告灯」が点滅した後、消灯します。

メイン電源ボタン

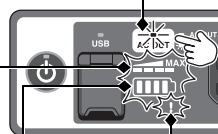


過負荷／温度警告灯、
バッテリー警告灯

2. 「AC OUT ボタン」を押す。

- ・「バッテリー残量灯」と「AC 出力インジケータ」が点滅した後、点灯します。
- ・「警告灯」が点滅した後、消灯します。

AC OUT ボタン



バッテリー残量灯 AC出力インジケータ
警告灯

3. バッテリー残量を確認する。

- ・バッテリーの残量に合わせ、バッテリー残量灯が光ります。



多い



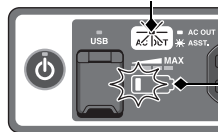
少ない



早めに充電して
ください

- ・バッテリーの残量が不足していると、「AC OUT ボタン」を押しても、「AC 出力インジケータ」が点灯せず、「バッテリー残量灯(1つ)」が点滅します。(その後、「バッテリー残量灯(1つ)」と「AC 出力表示灯」が消えます。)
「バッテリー残量灯(1つ)」が点滅したときは、充電をしてください。

AC出力表示灯



バッテリー残量灯

充電のしかた

■ 充電をする前に

充電をする前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』（P.4～5）をよくお読みください。

バッテリーの寿命について

満充電にしても運転時間が著しく短くなったと感じた際は、バッテリーの寿命が故障の可能性があります。お買いあげ販売店またはサービス店にご相談ください。

取扱いのポイント

- 本機の充電は、周囲温度が 0℃～40℃の範囲内で行ってください。
- 本機を移動して周囲温度が大きく変化したときは、しばらく経ってから充電してください。温度変化の直後に充電すると、バッテリー容量の低下を引き起こす可能性があります。
- 周囲温度が 0℃～40℃の範囲外で充電をした場合、「過負荷／温度警告灯」が点灯することがあります。「過負荷／温度警告灯」が点灯した時は、適正な温度環境下に 2 時間ほど置き、「過負荷／温度警告灯」が消えたことを確認してから充電をしてください。
- 消費電力の大きな電気機器を長時間使用した直後の充電では、「過負荷／温度警告灯」が点灯し充電できないことがあります。「過負荷／温度警告灯」が点灯した時は、しばらく時間をおいて、「過負荷／温度警告灯」が消えたことを確認してから充電してください。
- 付属の充電器以外では、本機の充電をしないでください。
- 充電時、充電器の接続先の電源容量が不足していると、充電時間が延びたり、充電器表示灯が消灯したりします。その際は電源容量をご確認ください。

推奨電源容量

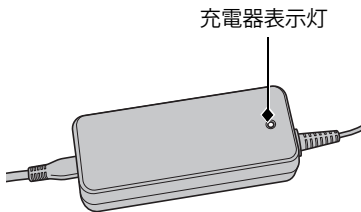
- ・ AC 充電器： 100V, 2A 以上
- ・ アクセサリーソケット充電器（JN1 タイプのみ付属）： 12V, 10A 以上

〈充電状態の確認方法〉

AC充電器、アクセサリソケット充電器（JN1タイプのみ付属）には「充電器表示灯」が装備されています。

「バッテリー残量灯（1つ）」点滅状態から充電を開始し、充電完了までの目安時間は約6時間（常温25℃）です。

赤色の点灯や点滅、また点灯しない場合は異常もしくは故障の可能性があります。
→ 故障かな？と思ったら（P.37）



充電器表示灯	状態
緑 点灯	- 充電準備中 - 充電完了
オレンジ 点灯	充電中
赤 点灯	異常（入力電圧異常、温度異常）
赤 点滅	故障
点灯しない	- 電源プラグ、ACコード未接続 - 故障

■AC 充電器で充電する

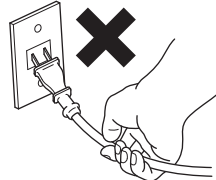
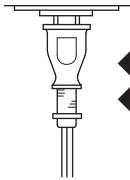
充電をする前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』（P.4～5）、『充電をする前に』（P.15）をよくお読みください。

⚠ 警告

- 電源プラグ、コード、本体、コネクターなどに損傷や変形がある充電器は使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になるおそれがあります。
- 発熱、破損および感電のおそれがありますので、電源プラグの抜き差しは確実に行ってください。

根元まで差込んでください。

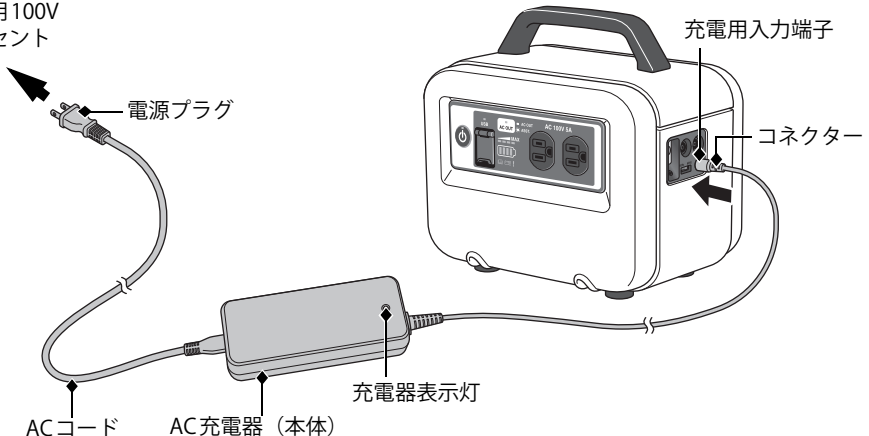
抜くときはコードを持たず、電源プラグを持って抜いてください。



- 延長コードを使用するなどして、屋外で電源プラグを接続する場合は、雨や水、海水など液体がかからないように注意してください。感電の原因になるおそれがあります。

1. ACコードをAC充電器（本体）に接続する。
2. 電源プラグを家庭用100Vコンセントに接続する。
3. 充電器のコネクターを充電用入力端子に接続する。
4. 充電が開始すると「充電器表示灯」がオレンジ色に点灯する。
・ 充電が完了すると表示灯がオレンジ色から緑色に変わります。
5. 充電の完了後は、充電器を本機およびコンセントから外す。

家庭用100V
コンセント



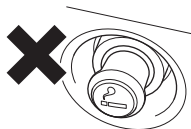
■アクセサリースOCKET充電器（JN1タイプのみ付属） で充電する

充電をする前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけは必ず守りましょう』（P.4～5）、『充電をする前に』（P.15）をよくお読みください。

⚠ 警告

- シガーソケットには接続しないでください。充電器の破損につながるおそれがあります。

シガーソケット

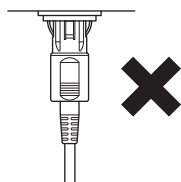


アクセサリースOCKET 12Vタイプ

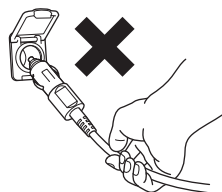


- 電源プラグ、コード、本体、コネクターなどに損傷や変形がある充電器は使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になるおそれがあります。
- 発熱、破損および感電のおそれがありますので、電源プラグの抜き差しは確実に行ってください。

根元まで差込んでください。



抜くときはコードを持たず、電源プラグを持って抜いてください。

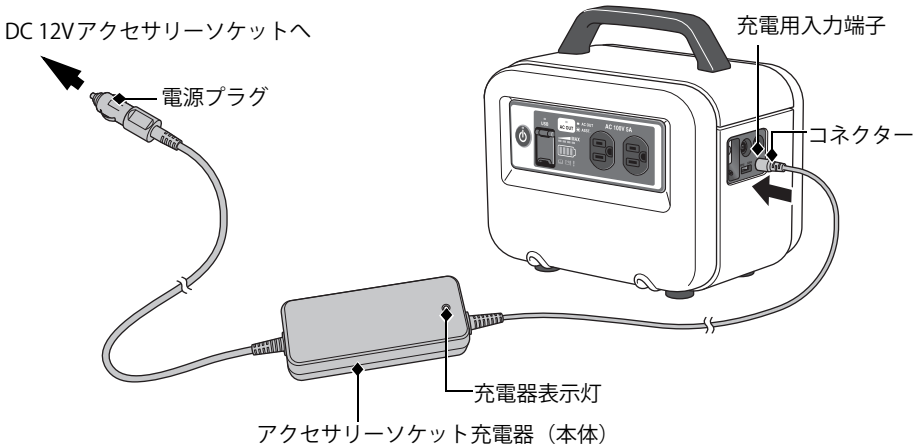


- 電源プラグを接続する場合は、水など液体がかからないように注意してください。感電の原因になるおそれがあります。

取扱いのポイント

- 車の 12V アクセサリーソケット装着車に使用できます。
一部の車種ではご使用できない場合があります。
- 24V アクセサリーソケットには使用できません。
- 停車中に充電をし続けると、車両側のバッテリーがあがる場合があります。
- 車両側のバッテリー電圧が低い場合、充電器が低電圧異常を検知し、充電ができない場合があります（充電器表示灯が赤色点灯します）。その際は、車両をしばらく走行させた後、再度充電器を接続しなおしてください。

1. 充電器の電源プラグを車の 12V アクセサリーソケットに接続する。
2. 充電器のコネクターを充電用入力端子に接続する。
3. 充電を開始すると「充電器表示灯」がオレンジ色に点灯する。
・充電が完了すると表示灯がオレンジ色から緑色に変わります。
4. 充電の完了後は、充電器を本機およびアクセサリソケットから外す。



電気の取出しかた

■ 電気を取出す前に

電気機器を接続する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』（P.4～5）をよくお読みください。

取扱いのポイント

- 電気を取出すときは、周囲温度が $-15^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ の範囲内で使用してください。
 - 本機を移動して周囲温度が大きく変化したときは、しばらく経ってから使用して下さい。温度変化の直後に使用すると、バッテリー容量の低下を引き起こす可能性があります。
 - 周囲温度が $-15^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ の範囲外で使用した場合、「過負荷／温度警告灯」が点灯し、電気が取出せなくなることがあります。
 - リチウムイオン電池の特性上、低温下では、運転時間が短くなったり出力が低下する場合があります。
 - 使用する際は、周囲に隙間（5cm 以上）を開けてください。本機内部の温度が上がり、温度保護装置により使用できない場合があります。
-
- 使用する電気機器の消費電力を確認いただき、本機の出力範囲内で電気機器を使用してください。本機の出力範囲を超えて使用した場合、保護装置が働き、電気が取出せなくなります。
→ 交流コンセントの出力範囲（P.40）
本機に接続して使用する電気機器の取扱いは、その機器の説明書に従ってください。

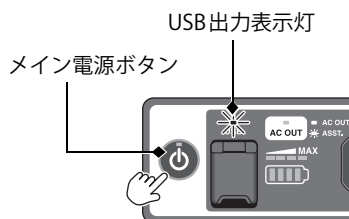
■USB 出力端子を使う

電気機器を接続する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』（P.4～5）、『電気を取り出す前に』（P.20）をよくお読みください。

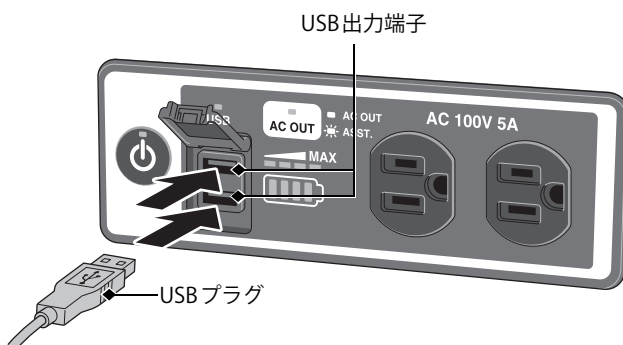
取扱いのポイント

- 1 つの端子から取れる電流は 1A までです。
1A を超える電気機器を接続すると、出力電圧が下がり接続した機器が停止する場合があります。
- バッテリーの残量を確認するときは「AC OUT ボタン」を押してください。確認後は、「AC OUT ボタン」の切り忘れに注意してください。（「AC 出力表示灯」が点灯しているときは、交流コンセントが未使用でも、本機の交流コンセント用の内部装置が電気を消費しています）

1. 「メイン電源ボタン」を押す。
 - ・「USB 出力灯」が点灯し、USB 出力が可能な状態になります。



2. フタを開ける。
3. 使用する電気機器のUSB プラグをUSB 出力端子に差込む。



■ 交流コンセントを使う

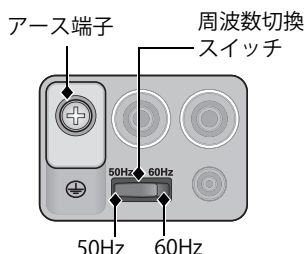
電気機器を接続する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』（P. 4～5）、『電気を取り出す前に』（P. 20）をよくお読みください。

取扱いのポイント

- 交流コンセントから取れる電力は、2つの合計で 500 W (VA) までです。
2つの合計が 500W(VA) を超える電気機器を接続すると、保護回路により「過負荷／温度警告灯」が点灯し出力が停止します。
- モーターなどの大きな起電力を必要とする電気機器を使用すると、開始時に「過負荷／温度警告灯」が点灯（最大で約 5 秒間）し、本機の内部装置より「ジー」と音を発する場合がありますが、一時的であれば故障ではありません。電気機器が起動した後は、「過負荷／温度警告灯」は消灯します。

1. 周波数切換スイッチを接続する電気機器の周波数に合わせる。

- 周波数切換スイッチは、誤操作防止のため奥まった場所に設置されています。細い棒状のものを使って操作してください。



2. 本機に接続する電気機器を大地にアースした場合は、本機のアース端子も必ずアースする。

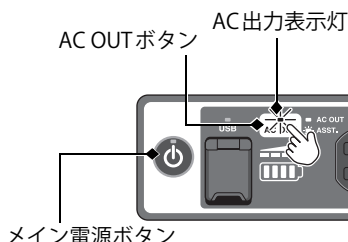
◇アースの取扱いについて

アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。
アースに関するご不明点は、お買いあげ販売店にご相談ください。

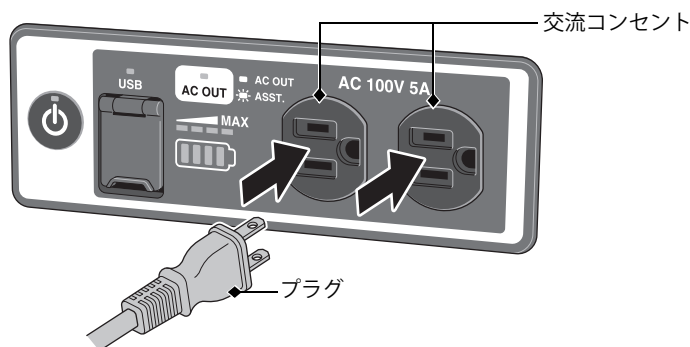
3. 「メイン電源ボタン」を押す。

4. 「AC OUT ボタン」を押す。

- 「AC 出力表示灯」が点灯し、交流出力が可能な状態になります。



5. 接続する電気機器のスイッチがOFFになっていることを確認し、交流コンセントへ電気機器のプラグを確実に差し込む。



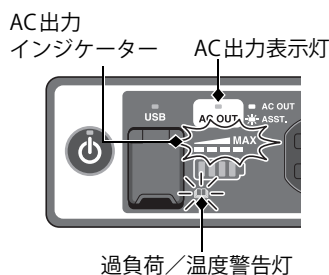
6. 電気機器のスイッチをONにする。

〈AC 出力インジケータのみかた〉

AC出力インジケータは、本機の出力（使用している電気機器の消費電力）を表示します。ご利用の目安としてお使いください。

 MAX	 MAX	 MAX	 MAX	 MAX
1灯点滅 約50W(VA)未満	1灯点灯 約50~100W(VA)	2灯点灯 約100~300W(VA)	3灯点灯 約300~450W(VA)	4灯点灯 約450W(VA)以上

- 過負荷運転や、使用電気機器が異常を起した場合、以下の表示をし、電気が取れなくなります。
 - ・「過負荷／温度警告灯」：点灯（1分後に消灯）
 - ・「AC 出力インジケータ」：4 灯点滅（1分後に消灯）
 - ・「AC 出力表示灯」：消灯



■ 並列運転する

並列運転とは、接続した2台が同じ割合で電気を出力し、連続して消費電力の大きな電気機器を使用する運転方法のことです。

接続対象機種

E500、EU9i、EU9iGB、EU9iGP、EU15iGP、EU16i

※EU9i entryは並列運転端子がないため接続できません

- 並列運転をしても USB 出力は変わりません。
- 並列運転コンセントボックスを使用し、EU15iGPもしくはEU16iと並列運転すると、更に大きな消費電力の電気機器を使うことができます。
→ EU15iGP、EU16i と接続する (P. 27)
- 連続して大きな消費電力の電気機器を使用しない場合は、「アシスト運転」をご利用ください。
→ アシスト運転する (P. 29)

電気機器を接続する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう』(P. 4～5)、『電気を取り出す前に』(P. 20)をよくお読みください。

⚠ 警告

- 並列運転端子には並列運転専用コードまたは並列運転コンセントボックスコード以外は絶対に接続しないでください。
- 他社製品とは絶対に接続しないでください。
- 発電機と接続する場合は、発電機の取扱説明書を必ずお読みください。
- 並列運転を行っているとき、並列運転専用コードまたは並列運転コンセントボックスコードを外さないでください。並列運転専用コードまたは並列運転コンセントボックスコードは、メイン電源を ON にする前に接続し、メイン電源 OFF 後に外してください。
- 単体運転をするときは、並列運転専用コードまたは並列運転コンセントボックスコードを必ず外してください。
- 並列運転専用コードまたは並列運転コンセントボックスコードを接続したまま、片方を止めて電気を取り出さないでください。

上記の内容をお守りいただかないと、火災あるいは人身事故または本機や他の発電機、使用電気機器が故障する原因となります。

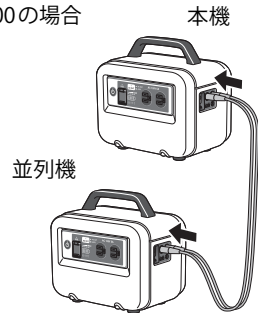
取扱いのポイント

- 使用電気機器によっては過負荷となり「過負荷／温度警告灯」が点灯し電気が取出せなくなります。
- モーター類は一般的に消費電力の2～3倍の電力を起動のために必要とします。

〈E500、EU9i、EU9iGB、EU9iGP と接続する〉

1. 並列運転専用コード（別売部品）を、それぞれの本体の並列運転端子に接続する。

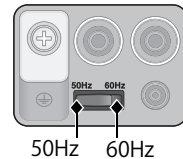
例) E500の場合



2. 本機と並列機の周波数切換スイッチを接続する電気機器の周波数に合わせる。

例) E500の場合

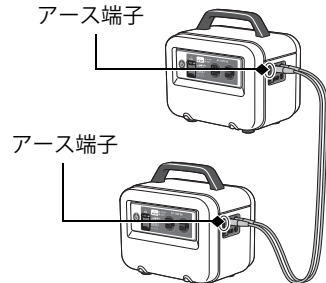
- ・ 周波数が異なると「過負荷／温度警告灯」が点灯し、電気を取出すことができません。



3. 本機および並列機に接続する電気機器を大地にアースした場合は、それぞれの本体（2台共に）も必ずアースする。

◇アースの取扱いについて

アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。
アースに関するご不明点は、お買いあげ販売店にご相談ください。



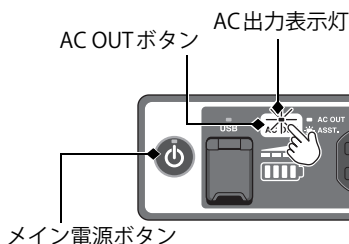
電気の取出ししかた

4. それぞれの「メイン電源ボタン」をONにする。 例) E500の場合

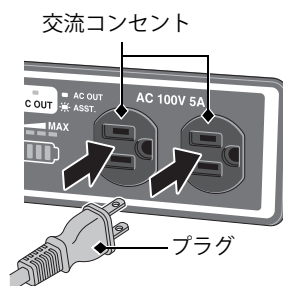
- ・発電機との並列の場合は、発電機のエンジンスイッチを「運転」位置にします。

5. それぞれの「AC OUTボタン」をONにする。

- ・発電機との並列の場合は、発電機を始動させます。始動のしかたは接続する発電機の取扱説明書に従ってください。



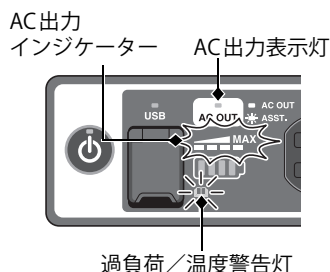
6. 接続する電気機器のスイッチがOFFになっていることを確認し、交流コンセントへ電気機器のプラグを確実に差込む。



7. 電気機器のスイッチをONにする。

- 過負荷運転や、使用電気機器が異常を起こした場合、以下の表示をし、電気が取出せなくなります。

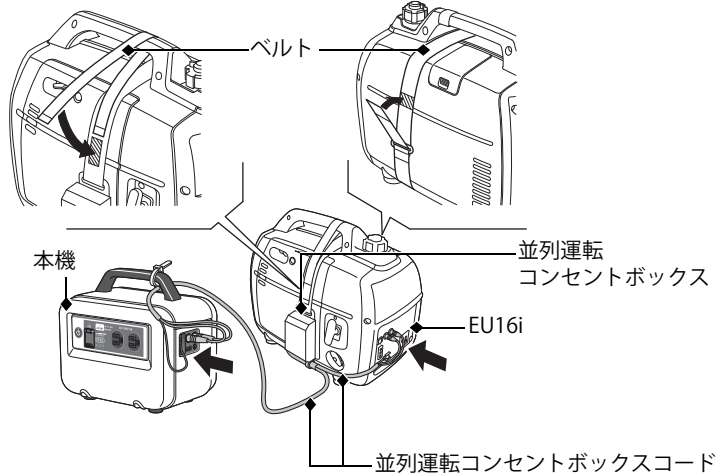
- ・「過負荷／温度警告灯」：点灯（1分後に消灯）
- ・「AC 出力インジケータ」：4灯点滅（1分後に消灯）
- ・「AC 出力表示灯」：消灯



〈EU15iGP、EU16i と接続する〉

1. 並列運転コンセントボックス（別売部品）を発電機にベルトで固定し、並列運転コンセントボックスコードをそれぞれの本体の並列運転端子に接続する。

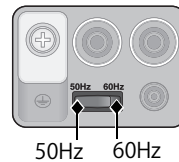
例) EU16iの場合



2. 本機と発電機の周波数切換スイッチを接続する電気機器の周波数に合わせる。

- 周波数が異なると「過負荷／温度警告灯」が点灯し、電気を取り出すことができません。

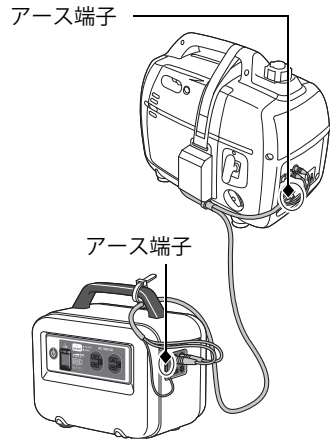
例) E500の場合



3. 本機および発電機に接続する電気機器を大地にアースした場合は、それぞれの本体（2台共に）も必ずアースする。

◇アースの取扱いについて

アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。アースに関するご不明点は、お買いあげ販売店にご相談ください。



電気の取出しかた

4. 本機の「メイン電源ボタン」をONにする。発電機のエンジンスイッチを「運転」位置にする。

5. 本機の「AC OUTボタン」をONにする。発電機のエンジンを始動する。

- 発電機の始動のしかたは、発電機の取扱説明書に従ってください。

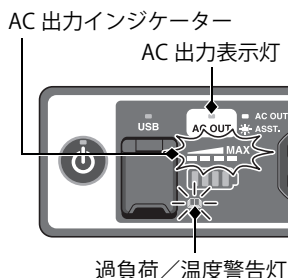
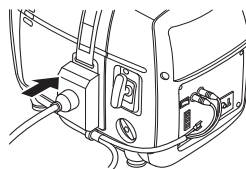
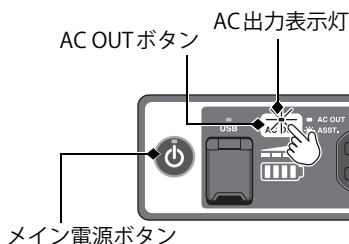
6. 接続する電気機器のスイッチがOFFになっていることを確認し、並列運転コンセントボックスへ電気機器のプラグを確実に差込む。

7. 電気機器のスイッチをONにする。

● 過負荷運転や、使用電気機器が異常を起こした場合、以下の表示をし、電気が取
出せなくなります。

- 「過負荷／温度警告灯」：点灯（1分後に消灯）
- 「AC 出力インジケータ」：4 灯点滅（1分後に消灯）
- 「AC 出力表示灯」：消灯

例) E500の場合



■ アシスト運転する

アシスト運転とは、アシスト対象機種が定格出力を超えた場合に、本機が約5秒間電力を供給（アシスト）する運転方法のことです。

連続して消費電力の大きな電気機器は使用しないが、モーターなど一時的にでも消費電力が大きくなり、定格出力を超える可能性がある場合に、ご利用ください。

アシスト対象機種

E500、EU9i、EU9iGB、EU9iGP、EU15iGP、EU16i

※EU9i entryは並列運転端子がないため接続できません

電気機器を接続する前に必ず『安全にお使いいただくためにこれだけは必ず守りましょう』（P.4～5）、『電気を取り出す前に』（P.20）をよくお読みください。

⚠ 警告

- 並列運転端子には並列運転専用コードまたは並列運転コンセントボックスコード以外は絶対に接続しないでください。
- 他社製品とは絶対に接続しないでください。
- 発電機と接続する場合は、発電機の取扱説明書を必ずお読みください。
- アシスト運転を行っているとき、並列運転専用コードまたは並列運転コンセントボックスコードを外さないでください。並列運転専用コードまたは並列運転コンセントボックスコードは、メイン電源を ON にする前に接続し、メイン電源 OFF後に外してください。
- 単体運転をするときは、並列運転専用コードまたは並列運転コンセントボックスコードを必ず外してください。

上記の内容をお守りいただかないと、火災あるいは人身事故または本機や他の発電機、使用電気機器が故障する原因となります。

取扱いのポイント

- 使用電気機器によっては過負荷となり「過負荷／温度警告灯」が点灯し電気が取出せなくなります。
- モーター類は一般的に消費電力の2～3倍の電力を起動のために必要とします。
- 以下の場合は、並列運転をご使用ください。接続した電気機器が動作しない場合があります。
 - ・アシスト対象機種の定格を超える負荷を連続して使用する。
 - ・複数の電気機器を同時に使用する。

電気の取出手かた

1. 並列運転専用コードまたは並列運転コンセントボックスコード（どちらも別売部品）を、それぞれの本体の並列運転端子に接続する。

アシスト対象機：定格出力を超えた消費電力の電気機器を使用した際に、本機（アシスト機）から電力供給を受ける機種。

本機（アシスト機）：アシスト対象機が過負荷になった際に、足りない電力を約5秒間供給する。

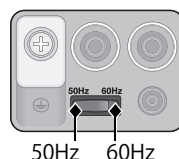
例）EU9iGBをアシストする場合



2. 本機とアシスト対象機の周波数切換スイッチを接続する電気機器の周波数に合わせる。

- 周波数が異なると「過負荷／温度警告灯」が点灯し、電気を取出すことができません。

例）E500の場合

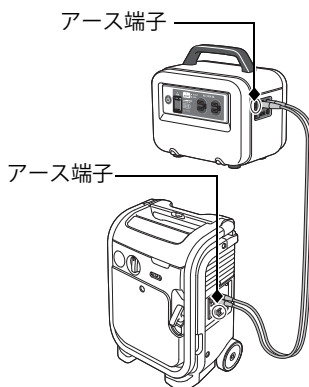


3. 本機およびアシスト対象機に接続する電気機器を大地にアースした場合は、それぞれの本体（2台共に）も必ずアースする。

◇アースの取扱いについて

アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。

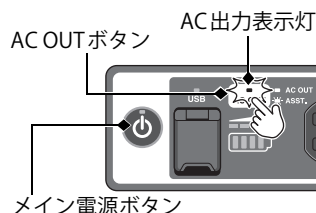
アースに関するご不明点は、お買いあげ販売店にご相談ください。



4. アシスト対象機を始動する。

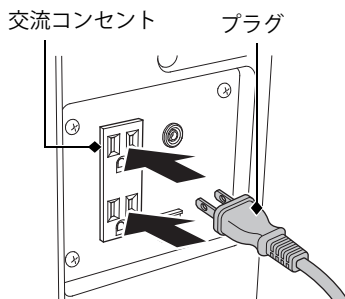
- 発電機の始動のしかたは、発電機の取扱説明書に従ってください。

5. 本機の「メイン電源ボタン」をONにし、「AC OUTボタン」を3秒以上長押しする。
 - ・アシスト運転が起動すると「AC 出力表示灯」が点滅します。



6. 接続する電気機器のスイッチがOFFになっていることを確認し、アシスト対象機の交流コンセントへ電気機器のプラグを確実に差込む。

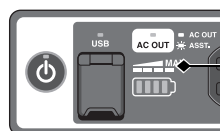
例) EU9iGB場合



7. 電気機器のスイッチをONにする。

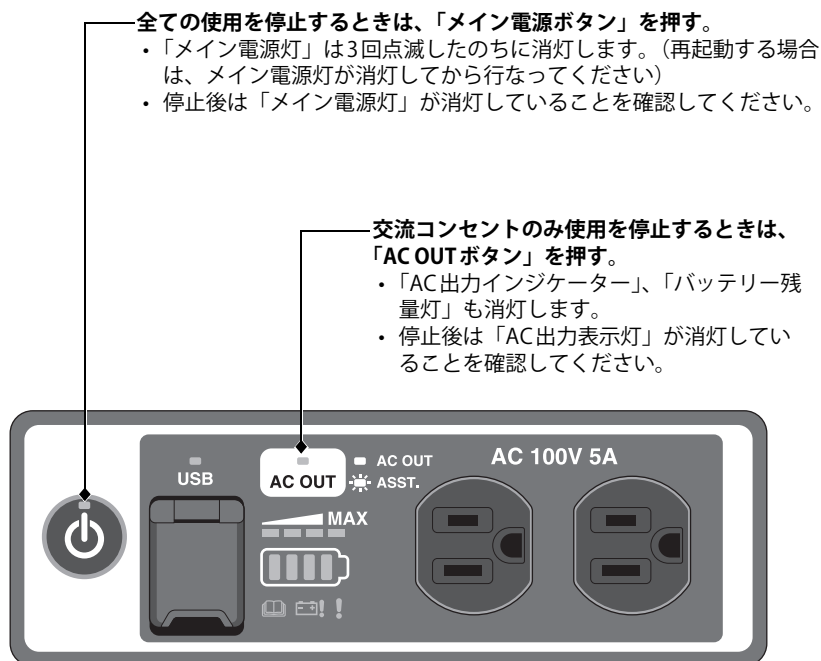
- アシスト対象機の出力が定格を超える負荷となった場合に、本機が電気を供給します。供給出力は、「AC 出力インジケータ」で表示します。

AC出力インジケータ



停止のしかた

1. 使用している電気機器を停止し、接続しているプラグを交流コンセントおよびUSB出力端子から抜く。
2. 「メイン電源ボタン」を押して、本機を停止する。
 - ・ 交流コンセントのみ使用を停止する場合は、「AC OUT ボタン」を押してください。



※USB出力端子のみを停止することはできません。

3. 並列運転／アシスト運転を使用した場合、専用コードで接続している、もう1台のE500もしくは発電機を停止する。
 - ・ 電気機器を接続している場合は、先に電気機器を停止し、プラグをコンセントから抜いてください。
4. 並列運転専用コードもしくは並列運転コンセントボックスコードを外す。

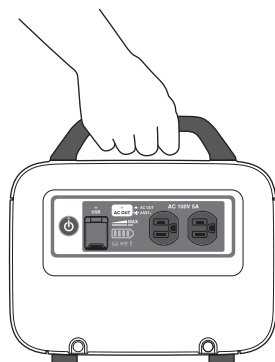
運搬のしかた

■ 手で持ち運ぶ

キャリーハンドルをしっかりと握って運んでください。

⚠ 警告

- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。また、変形破損した場合は使用しないでください。火災やヤケド、感電やケガの原因になります。



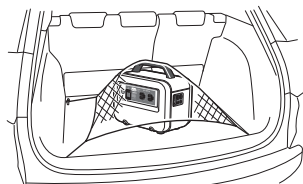
■ 車で運ぶ

平坦な場所に本機が動かないように固定して積載してください。

⚠ 注意

- 高温になった車内など、高温の場所で使用、保管しないでください。バッテリーが早期劣化するおそれがあります。また、発熱や発火の原因になります。

積載の一例



取扱いのポイント

- 本機の上に荷物などを置かないでください。本機が破損するおそれがあります。

■ 船舶や航空機で運ぶ

リチウムイオン電池を内蔵している本機を船舶や航空機で運ぶ際には、法律や規則に従った対応が必要です。詳しくは輸送業者にご確認ください。

お手入れと保管のしかた

■ お手入れのしかた

本機をお手入れする前に、充電器は外し、メイン電源がOFFになっていることを確認してください。

本機や充電器の汚れは、水で薄めた中性洗剤や軽く水を含ませた布で落とし、乾いた布でふき取ってください。

USB出力端子、交流コンセント、充電用入力端子、並列運転端子など電気接続部には、水や洗剤がかからないようにしてください。

⚠ 注意

- 水洗いは行わないでください。電装部品の故障やショートを起こす可能性があります。

取扱いのポイント

- アルコール、シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。印刷が消えたり、色あせするおそれがあります。

■ 保管のしかた

長期間使用しない場合は、メイン電源がOFFになっていることを確認してから、湿気の少ないところで保管してください。

半年に一度は、バッテリー残量を確認し、少ない場合は充電することをお勧めします。

⚠ 注意

- 湿気やほこりの多いところや、高温となるところには保管しないでください。絶縁性能が低下し、発熱・発火の原因となります。また、高温下での保管はバッテリーの寿命を縮める場合があります。

取扱いのポイント

- バッテリーは徐々に放電していきます。完全放電にいたるとバッテリーを新品に交換する必要があります。半年に一度は、バッテリー残量を確認し、充電してください。

故障かな？と思ったら

下記「処置方法」で解決しない場合は、分解しないで、はやめにお買いあげ販売店またはサービス店へご相談ください。

表示	症状	原因	処置方法
	メイン電源灯点灯しない	バッテリー残量低下	充電をした後、メイン電源を ON してください。
	USB 出力灯点灯しない	バッテリー残量低下	充電をした後、メイン電源を ON してください。
		出力部短絡、過負荷	メイン電源を OFF します。接続している USB プラグを外し、メイン電源を ON してください。USB 出力端子部に水や異物が付着している場合は除去してください。
	- AC 出力表示灯が点灯しない - 交流コンセントが使用できない	バッテリー残量低下	充電をした後、メイン電源を ON し、AC OUT ボタンを押してください。 → 充電のしかた (P.15)
		AC OUT ボタンが押されていない	メイン電源 ON 後、AC OUT ボタンを押してください。 → 交流コンセントを使う (P.22)
		アシスト運転で起動している	AC 出力表示灯が点滅している場合は、アシスト運転で起動しています。AC OUT ボタンを OFF し、再度押してください。(約 1 秒間程度押す) → 交流コンセントを使う (P.22)
		保護機能が動作した場合	処置方法は、他の表示灯／警告灯に従ってください。交流コンセントの過負荷、内部装置保護で動作した場合、約 1 分後に表示が消えます。(AC 出力表示灯、バッテリー残量灯、過負荷／温度警告灯)
	「過負荷／温度警告灯」が点灯し、「AC 出力インジケーター」が 4 灯すべてが点滅している - 交流コンセントを使用中に出力が停止する	AC 過負荷	メイン電源を OFF します。接続している電気機器のプラグを外した後、メイン電源を ON してください。 → 使用できる範囲 (P.40)

故障かな？と思ったら

表示	症状	原因	処置方法
	・「過負荷 / 温度警告灯」が点灯している ・交流コンセントを使用中に出力が停止する	過電圧保護	メイン電源を OFF し、以下の対応をおこなった後、メイン電源を ON してください。 ・並列運転時、2 台の周波数設定を同設定にする。 → 並列運転のしかた (P. 24)
		過熱保護	メイン電源を OFF し、本機を常温に戻した（常温に戻るまでの時間は、条件によって変化します）後、メイン電源を ON してください。 ・使用環境をご確認ください。 → 電気の取り出ししかた (P. 20) → 充電のしかた (P. 15) ・冷却風取入口 / 排出口に異物がある場合は除去してください。 → 冷却風取入口 / 排出口 (P. 13) ・設置のしかたをご確認ください。
		低温保護	メイン電源を OFF し、本機を常温に戻した（常温に戻るまでの時間は、条件によって変化します）後、メイン電源を ON してください。 ・使用環境をご確認ください。 → 電気の取り出ししかた (P. 20) → 充電のしかた (P. 15)
	・「バッテリー警告灯」が点灯している	バッテリー故障	バッテリーの交換が必要です。お買いあげの販売店またはサービス店へご相談してください。
	・「警告灯」が点灯している	内部装置故障	内部装置の交換が必要です。お買いあげの販売店またはサービス店へご相談してください。

表示	症状	原因	処置方法
	• 充電できない	接続不良	電源プラグ、充電コネクタが接続されていることを確認してください。 充電器出力コネクタ部、または充電用入力端子部に水や異物が付着している場合は除去してください
	• 「充電器表示灯」が点灯しない／消える	充電器接続電源の電圧不足	充電器を本体から外し、充電器電源プラグを抜きます。充電器に接続されている電源電圧をご確認ください。電圧が低い場合、充電器が停止します。 →充電のしかた (P. 15)
		AC コード未接続	AC コードが充電器本体から抜けている可能性があります。ご確認ください。
	• 「充電器表示灯」が赤色点灯している	充電器温度保護	充電器を本体から外し、充電器電源プラグを抜きます。充電器を常温に戻した（常温に戻るまでの時間は、条件によって変化します）後、電源プラグを差込んでください。 →充電のしかた (P. 15)
		充電器接続電源の電圧異常	充電器電源プラグを抜き、アクセサリソケットの電圧をご確認ください。 →充電のしかた (P. 15)
		充電器接続電源の出力短絡	充電器電源プラグ、本機接続コネクタを抜きます。充電器コネクタ部、または充電用入力端子部に水や異物が付着している場合は除去してください。 →充電のしかた (P. 15)
	• 「充電器表示灯」が赤色点滅している	充電器故障	充電器の交換が必要です。お買いあげの販売店またはサービス店へご相談してください。

廃棄のしかた

廃棄の際は、お買いあげ販売店またはHondaお客様相談センターにご相談ください。



警告

- 本機を家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください。ゴミ収集車内や集積場での発煙・発火の原因になります。



Li-ion20

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルできます。このリチウムイオン電池の取外しはお客様自身では行わず、お買いあげ販売店またはサービス店にご相談ください。

主要諸元

名 称	E500	
タ イ プ	JN	JN1
型 式	EJJ	
寸 法		
全 長	266 mm	
全 幅	182 mm	
全 高	203 mm	
[]内はハンドル込み寸法	[248 mm]	
重 量	5.3 kg	
定 格 周 波 数	50 Hz / 60 Hz	
電 圧 調 整 方 式	PWM 方式	
内蔵バッテリー		
タ イ プ	充電式リチウムイオン電池	
電 池 容 量	377 Wh	
交流コンセント		
最 大 出 力	500 W (VA) 常温時 (25℃)	
定 格 出 力	300 W (VA)	
定 格 電 圧	100 V	
定 格 電 流	3 A	
U S B 出 力 端 子		
定 格 出 力	10 W	
定 格 電 圧	5 V	
定 格 電 流	2 A (1 A×2)	
A C 充 電 器		
入 力	AC 100 V - 2 A, 50-60 Hz	
出 力	DC 41.2 V - 2 A	
アクセサリソケット充電器		
入 力	—	DC 12 V - 10 A
出 力	—	DC 41.2 V - 2 A
出 力 端 子		
交 流 コ ン セ ン ト	アース式コンセント	
U S B	タイプA	
充 電 時 間 ※	約6時間	

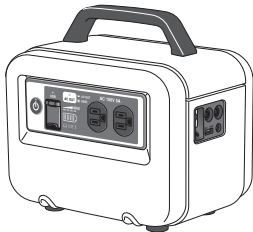
※ 内蔵バッテリーを使い切った状態から満充電するまでの常温25℃での時間です。バッテリーの残量や使用温度環境によって変化します。

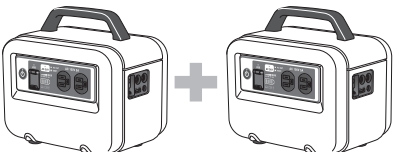
- この諸元は予告無く変更することがあります。
- バッテリー製品は特性上、使用温度環境やバッテリーの劣化具合により性能は変化します。

交流コンセントの出力範囲と使用時間の目安

■ 交流コンセントの出力範囲

- 交流コンセント（AC100V）と USB 出力端子（DC5V）は同時に使用いただけます。
- モーターなどの大きな起動電力を必要とする製品は、本機の出力可能な範囲内であっても、電気を取らせない場合があります。
詳しくはお買いあげ販売店またはサービス店にご相談ください。

単体運転	交流コンセント使用数	出力
	1つのコンセントを使用	最大500W(VA)
	2つのコンセントを使用	合計で500W(VA)

並列運転	交流コンセント使用数	出力
	1つのコンセントを使用	最大1000W(VA)
	複数のコンセントを使用	合計で最大1000W(VA)
 〈EU9iGB〉  〈EU9i/EU9iGP〉 	1つのコンセントを使用	最大1400W(VA)
	複数のコンセントを使用	合計で最大1400W(VA)

交流コンセントの出力範囲と使用時間の目安

並列運転	交流コンセント使用数	出力
 〈EU15iGP/EU16i〉	1つのコンセントを使用	最大1500W(VA)
	複数のコンセントを使用	EU15iGP 合計で最大2000W(VA)
		EU16i 合計で最大2100W(VA)
 〈EU15iGP/EU16i〉	コンセントBOXのコンセントを使用	EU15iGP 最大2000W(VA)
		EU16i 最大2100W(VA)
	コンセントBOXのコンセントと複数のコンセントを使用	EU15iGP 合計で最大2000W(VA)
		EU16i 合計で最大2100W(VA)

■ 使用時間の目安

- 周囲温度やバッテリー使用回数の増加、経年により電気機器の使用時間は変動します。
- 消費電力、使用可能時間／回数は参考値です。
- 接続する電気機器の消費電力は、電気機器の取扱説明書やカタログなどでご確認ください。

電気機器	消費電力 (参考値)	使用可能時間／回数 (参考値)
アウトドア／レジャー		
・ 卓上 LED 照明	12 W	約10～14時間
・ LED 照明 (USB)	2.5 W	約7日間
・ LED 投灯機	20 W	約7.5時間
・ DC 扇風機	18 W	約9～15時間
・ 電気毛布	55 W	約4時間
・ 電気ポット	430 W	1リットル×約3回
・ 小型ドライヤー	500 W	約0.7～1.3時間
情報機器		
・ 液晶テレビ	69 W	約5時間
・ ノートパソコン	65 W	充電約3～4回 (連続 約10～15時間)
・ スマートフォン (USB)	5 W	充電約16～20回
防災機器		
・ ラジオ	12 W	約14時間
・ 石油ファンヒーター	390 W	約2.5～4時間
・ ガスファンヒーター	27 W	約6.5～8時間

× 毛

メ モ

本製品についてのお問い合わせ・ご相談は、
まず、Honda販売店にお気軽にご相談ください。

販売店

TEL

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120－112010 イイフレアイオ

受付時間 9：00～12：00 13：00～17：00
〒351-0188 埼玉県和光市本町8－1

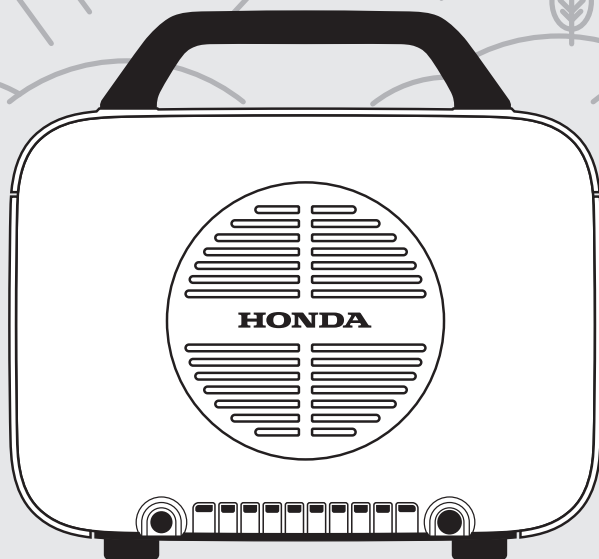
所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

本製品に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- (1) 製品名、タイプ名
- (2) ご購入年月日
- (3) 販売店名
- (4) シリアルナンバー_____（書込み控え欄）

HONDA

The Power of Dreams



30ZAN601
00X30-ZAN-6010

FM XXX.XXXX.XX

© 2017 本田技研工業株式会社